

# ひょうごらくのうメモ

1

2026JAN



表紙：『2026スタート！ヒッヒ～ハ～ッ』 穏やかな年でありますように。

フルカラー版は組合ホームページから  
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合  
神戸市西区伊川谷町潤和1058  
西神文化センター3階

## 年頭の挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。組合員並びに関係者の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えたこととお慶び申し上げます。また、日頃より当組合の事業に対し、多大なるご理解とご支援を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

昨今、私たちを取り巻く環境はかつてない厳しさに直面しています。世界各地で記録的な熱波や豪雨、大規模な山林火災が常態化しており、地球温暖化に伴う異常気象はもはや一地域の課題ではなく、世界の食料生産を揺るがす深刻な事態となっています。

国際社会に目を向ければ、大国による自国保護主義的な振る舞いが加速し、地政学的なリスクが経済の不安定化に拍車をかけています。特に輸入飼料に依存せざるを得ない我が国の酪農経営にとって、為替相場の激しい変動はコストを直撃し、経営の根幹を脅かす大きな懸念材料となっています。

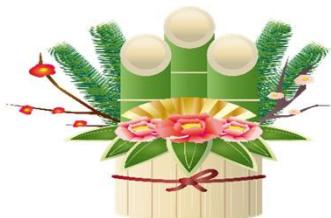
こうした中、昨秋発足した高市内閣が掲げる積極財政への転換は、日本経済の再生と内需拡大に向けた大きな一步として期待を寄せております。機動的な財政出動により、円安是正やエネルギー・飼料価格の安定化、そして消費者の購買力向上につながる経済循環が生まれることを切に願うばかりです。

また、地元兵庫県におかれましては、全国に先駆けて粗飼料高騰対策支援などの継続的な経営支援を打ち出しております。行政の手厚い後押しに対し、この場を借りて深く感謝申し上げます。

牛乳・乳製品の消費減退や適正な価格形成の難しさなど、課題は山積しております。しかし、私たちは立ち止まるわけにはいきません。組合といったましましては、消費者の皆様へ「酪農の価値」を粘り強く伝え、理解醸成を図るとともに、組合員一人ひとりの経営安定に資する実効性のある施策を地道に積み重ねてまいる所存です。

本年が、皆様にとって困難を乗り越え、明るい未来へと飛躍する輝かしい一年となりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和8年1月吉日



兵庫県酪農農業協同組合  
代表理事組合長 吉川 稔英

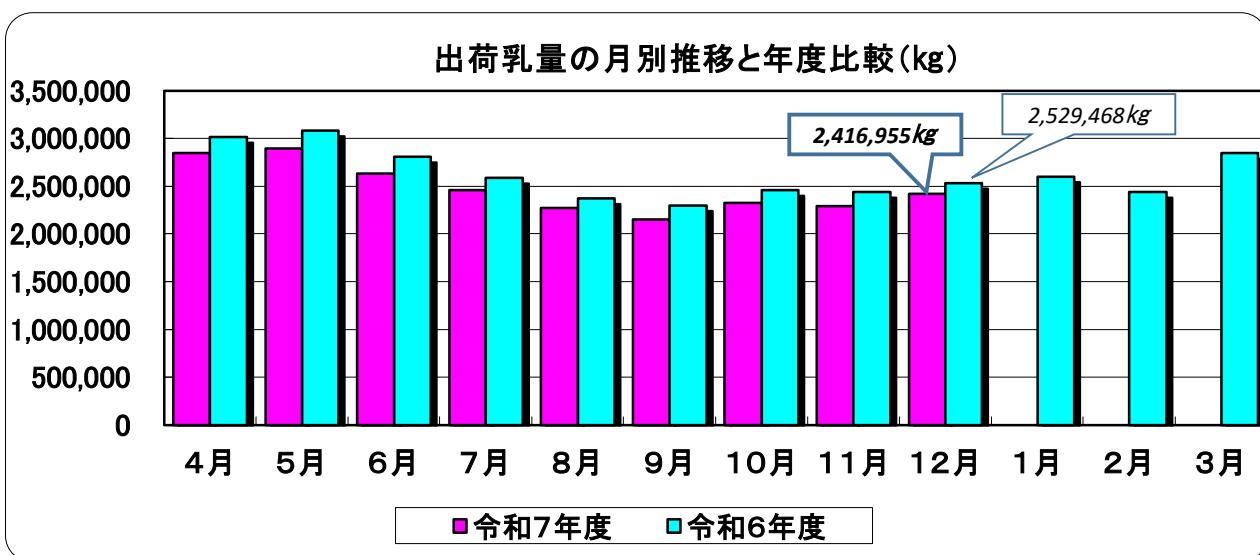
# 生乳生産統計

## 1. 全国(令和7年11月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

	生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和 7年 4月	644.8	101.5
令和 7年 5月	663.4	101.2
令和 7年 6月	627.9	101.9
令和 7年 7月	613.8	101.2
令和 7年 8月	604.1	102.0
令和 7年 9月	580.4	100.2
令和 7年 10月	604.1	99.7
令和 7年 11月	586.2	99.5
令和 7年 12月		
令和 8年 1月		
令和 8年 2月		
令和 8年 3月		
令和 7年度累計	4,924.8	100.9

## 2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 7年 12月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	419,559	92.1	3,870,873	92.8	16
播州地区	263,740	79.1	2,621,913	87.7	12
丹但地区	236,498	104.4	2,097,305	98.3	12
淡路地区	1,497,158	98.9	13,691,212	96.4	62
合 計	2,416,955	95.6	22,281,303	94.4	102



## 参考情報

## 淡路家畜市場情報

## 令和7年12月第2金曜日

F1 スモール		頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
	メス	今回	17	172,571	254,100	58,300		57		
	メス	前回	13	163,646	216,700	80,300		62	8,925	5.5%
	メス	前年	18	88,794	154,000	5,500		59	83,777	94.3%
	オス	今回	11	186,400	231,000	113,300		57		
	オス	前回	18	190,483	255,200	132,000		60	-4,083	-2.1%
	オス	前年	15	120,487	185,900	22,000		59	65,913	54.7%
	去勢	今回								
	去勢	前回								
	去勢	前年								

ホルス スモール		頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
	メス	今回								
	メス	前回								
	メス	前年								
	オス	今回	1	14,300	14,300	14,300		56		
	オス	前回	1	33,000	33,000	33,000		50	-18,700	-56.7%
	オス	前年	1	4,400	4,400	4,400		58	9,900	225.0%
	去勢	今回								
	去勢	前回								
	去勢	前年								

\* 前回は令和7年11月第4金曜日・前年は令和6年12月第2金曜日

## 令和7年12月第4金曜日

F1 スモール		頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
	メス	今回	14	190,379	222,200	134,200		58		
	メス	前回	17	172,571	254,100	58,300		57	17,808	10.3%
	メス	前年	16	88,550	155,100	12,100		56	101,829	115.0%
	オス	今回	24	212,117	255,200	56,100		56		
	オス	前回	11	186,400	231,000	113,300		57	25,717	13.8%
	オス	前年	13	82,246	173,800	7,700		56	129,871	157.9%
	去勢	今回								
	去勢	前回								
	去勢	前年								

ホルス スモール		頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
	メス	今回								
	メス	前回								
	メス	前年								
	オス	今回	4	41,800	51,700	31,900		49		
	オス	前回	1	14,300	14,300	14,300		56	27,500	192.3%
	オス	前年	4	2,750	4,400	1,100		55	39,050	1420.0%
	去勢	今回								
	去勢	前回								
	去勢	前年								

\* 前回は令和7年12月第2金曜日・前年は令和6年12月第4金曜日

# 隣県家畜市場情報

## 乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)	
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669
6年次	33,585	464	32,402	1,042	32,296	50	47,081	65,478
6 1	30,056	34	38,463	90	取引なし		46,203	5,796
2	33,259	34	33,658	92	14,300	4	46,549	5,562
3	36,770	49	29,348	103	31,625	4	50,541	5,500
4	42,848	42	34,354	78	41,800	3	64,268	5,843
5	45,385	27	39,921	87	71,989	9	89,493	4,627
6	62,924	54	63,092	59	75,900	3	128,836	4,102
7	72,515	13	66,370	64	42,460	5	77,057	5,333
8	40,288	40	38,341	86	取引なし	4	21,444	5,951
9	20,618	39	22,641	92	10,560	5	16,885	5,533
10	10,310	51	13,786	115	4,840	5	16,303	6,355
11	15,636	42	18,724	79	2,200	1	18,892	5,502
12	17,064	39	16,637	97	7,071	7	22,413	5,374
7 1	16,067	33	20,782	84	取引なし	5	27,344	5,796
2	23,257	35	24,903	76	1,100	1	42,173	5,025
3	29,838	40	30,755	74	16,500	1	68,621	5,487
4	76,696	112	67,711	27	29,700	4	86,848	5,787
5	62,984	31	67,442	38	32,175	4	104,366	4,564
6	80,911	18	90,035	25	31,900	1	119,074	4,568
7	78,232	25	125,788	34			83,086	5,711
8	48,251	37	47,139	57	38,500	4	42,988	5,630
9	46,536	72	35,468	49	2,200	1	41,130	6,108
10	48,919	53	35,897	52	39,325	4	41,860	5,696
11	49,350	44	38,740	51	30,388	8	51,451	5,001
12	40,397	58	36,400	57	28,325	4	63,201	4,997

## 交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)	
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638
6年次	128,605	5,764	133,192	4,175	175,217	1,401	112,269	174,340
6 1	96,405	549	93,851	244	116,838	139	71,742	15,916
2	105,955	496	106,128	402	139,177	143	89,564	15,252
3	124,959	434	118,804	294	172,915	128	107,578	14,641
4	149,621	580	155,327	325	203,810	117	127,307	14,983
5	209,525	369	188,358	362	212,019	125	165,311	13,062
6	243,157	309	233,689	268	236,406	105	207,580	10,699
7	202,896	390	199,813	270	251,198	83	169,484	13,621
8	127,372	371	137,538	354	209,105	94	96,371	14,272
9	110,706	583	127,049	388	169,291	101	87,532	15,289
10	78,990	627	94,268	492	137,013	104	77,530	17,498
11	85,004	467	90,266	382	144,203	128	88,472	14,687
12	105,577	589	105,319	394	162,103	134	105,694	14,420
7 1	113,308	535	120,105	322	187,600	134	112,008	14,837
2	143,766	573	150,335	324	230,056	120	158,652	13,048
3	176,271	565	171,449	295	215,955	130	194,356	12,757
4	223,428	525	232,287	311	262,511	130	218,663	13,432
5	261,174	453	254,719	361	294,911	99	238,092	11,864
6	299,867	333	297,813	243	345,779	87	262,505	10,365
7	301,814	430	297,328	352	374,034	66	241,430	12,627
8	268,665	386	251,341	354	339,621	71	192,008	13,281
9	214,669	702	232,794	426	318,175	112	180,789	15,501
10	163,732	616	166,400	470	251,849	107	169,106	16,309
11	160,287	597	170,979	358	229,957	115	161,995	15,533
12	169,100	769	179,724	467	251,065	166	159,603	17,455

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

## 令和7年12月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（ホル・ホ系・他）			初妊牛（ホル・ホ系・他）			経産牛（ホル・ホ系・他）				
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値
北見	12/5	428	447	20	228	3	440	333	389			
十勝	12/8・9					947	1,340	189	732	126	989	132
十勝	12/11	670	563	22	319							
南北海道	12/12	90	373	63	208	107	901	229	629	5	548	417
北見	12/15					234	771	275	609	10	334	160
豊富	12/19					304	807	220	564	6	480	330
根室	12/22					471	1,178	253	680	2	529	458
釧路	12/23					251	1,027	55	700			
合計	8回	1,188	563	20	278	2,317	1,340	55	678	149	989	132
前年同月成績	8回	1,044	778	11	229	2,481	1,159	150	602	155	714	132
前月合計成績	11回	1,238	513	11	242	3,076	1,430	110	584	168	938	74

## ホクレン乳牛市場開催日程

1月13日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	2月 5日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
1月15日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成	2月 6日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大樂毛) 育成
1月16日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安平)	2月 9日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
1月19日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	2月10日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大樂毛)
1月20日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大樂毛)	2月12日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成
1月23日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	2月13日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安平)
1月26日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)		2月13日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)	育成
1月27日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	2月19日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
			2月20日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)	
			2月27日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)

## ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苦小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線3-1	0155-42-2231	帶広支所 酪農課	0155-42-2231
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大樂毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

# 北海道牛乳生産地情報

(令和8年1月1日現在)

事務所	畜 種	相場(万円)	価格状況	管 内	状 況
札幌管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	2.3～3.3 6.5～7.5 3.5～4.5	やや強含み 強含み 横這い	函館管内が月計96.2%・累計100.4%、吉小牧管内が月計36.1%・累計99.0%となっております。分娩時季は3月～6月中旬が中心となりますが、販賣率が春分段になると見込まれることから、当該分娩時期の取扱が主流となります。出回り資源についても、鮮新選別販売および自販とともに確保可能な状況にあり、両者の価格差は大きくありません。当管内は高能力牛への出回りが多い地域であるため、高能力・高能率を維持する必要があります。ご興味のある牛がございましたら、ご注文ください。	計100.3%となっております。分娩時季は3月～4月中旬が中心となります。春分強含みを見込まれることから、相場は強含みで推移すると予想されます。出回り資源についても、鮮新選別販売および自販とともに確保可能な状況です。相場はやや強含みで推移すると予想されます。
	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	2.8～3.8 6.5～7.5 3.5～4.5	やや強含み 強含み 横這い		
	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	2.8～3.8 6.5～7.5 4.0～5.0	やや強含み 強含み 横這い		
帯広管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	2.5～3.5 6.0～7.0 3.5～4.5	強含み 強含み 横這い	計100.6%となっております。分娩時季は3月～4月中旬が中心となり、春分強牛が出現し始めます。道北管内では前年7月の初妊牛の動向につきましては、春分強牛が最も高い影響が現れると予想され、同年に比べ春分強牛の出回りは少なく見込まれることから、轟車等を奉公するよりも確保可能ですが、地域ごとに偏りがあります。育成牛につきましては、貴重な春生まれの出回りとなり、相場は引き続き堅調であります。	計100.3%となっております。分娩時季は3月～4月中旬が中心となります。春分強牛が出現し始めます。道北管内では前年7月の初妊牛の動向につきましては、春分強牛が最も高い影響が現れると予想され、同年に比べ春分強牛の出回りは少なく見込まれることから、轟車等を奉公するよりも確保可能ですが、地域ごとに偏りがあります。育成牛につきましては、貴重な春生まれの出回りとなり、相場は引き続き堅調であります。
	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	2.5～3.5 6.0～7.0 3.5～4.5	強含み 強含み 横這い		
	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	2.8～3.8 6.5～7.5 3.5～4.5	やや強含み 強含み 横這い		
道北管内	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	2.5～3.5 6.0～7.0 3.5～4.5	強含み 強含み 横這い	計100.2%・累計101.7%となっております。道北管内では前年7月の初妊牛の動向につきましては、春分強牛が最も高い影響が現れると予想され、同年に比べ春分強牛の出回りは少なく見込まれることから、轟車等を奉公するよりも確保可能ですが、地域ごとに偏りがあります。育成牛につきましては、貴重な春生まれの出回りとなり、相場は引き続き堅調であります。	計100.2%・累計101.7%となっております。道北管内では前年7月の初妊牛の動向につきましては、春分強牛が最も高い影響が現れると予想され、同年に比べ春分強牛の出回りは少なく見込まれることから、轟車等を奉公するよりも確保可能ですが、地域ごとに偏りがあります。育成牛につきましては、貴重な春生まれの出回りとなり、相場は引き続き堅調であります。
	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	2.8～3.8 6.5～7.5 3.5～4.5	やや強含み 強含み 横這い		
	育成牛(10-12月令) 初妊牛 経産牛	2.8～3.8 6.5～7.5 3.5～4.5	やや強含み 強含み 横這い		

\*上記相場は、直流通銀牛(ロクラス)の延先選畜購買による予想相場です。

延先選畜購買のたより、市場購買とは異なります。

全国酪農業組合連合会(全農連)

札幌営業所  
☎ 011-241-0765

6年度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くおねがい申し上げます。  
牛の導入計画が立ちましたら、母牛寄りの支所へご一報下さい。  
担当者がお忙しいこと、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう、  
また、譲渡後の輸送・事故対応は責任を持った販売所をお手配申して上げます。

《 各 事 業 所 話 呼 号  
釧路事務所 ☎ (0151) 61-1232  
長岡駅牛販手筋所 ☎ (0153) 76 1677  
吉浜支所 ☎ (0155) 37 6051  
道北事務所 ☎ (0166) 42 2368

令和8年1月13日

## 輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所  
酪農生産研究会

新年明けましておめでとうございます。  
本年も宜しくお願ひ申しあげます。

### 北米コンテナ船情勢

北米西海岸を中心とする航路では、年末商戦の影響により港湾作業の遅延や混雑が発生しておりスケジュールに乱れが生じています。2月には中国の旧正月も控えており、旧正月が始まるまでには中国発着の貨物が増加し、旧正月中には中国に発着する貨物の流通量が一時的に低下しスケジュール調整のため本船を間引き運航する可能性もあり、動向を注視する必要があります。

11月下旬にはロサンゼルス港停泊中の本船（ONE HENRY HUDSON）にて火災が発生し、共同海損（損害した船体や貨物の費用を荷主で公平に按分し負担する制度）が宣言されました。12月中旬には排水作業が完了し、荷卸作業も開始されていますが、積載された全ての貨物は米国沿岸警備隊（USCG）の調査のためロサンゼルス港に保管されており、本船の再出港や今後のスケジュールは依然として不透明となっています。



11月下旬 鎮火活動の様子  
Dolphin Maritime & Aviation Services Ltd.より

### ビートパルプ

米国では25年—26年産の収穫作業とビートパルプの生産が概ね終了しており、

ペレットの出荷が開始されています。欧洲やメキシコなどの輸出向けの需要は引き続き堅調に推移しています。

## アルファルファ

25年産の収穫は終了しました。ワシントン州やオレゴン州の1番刈では春先の生育に適した冷涼な気候や好天に恵まれたものの、収穫期に降雨があり、一部の圃場で雨あたりの被害が発生しました。降雨を避けて収穫した圃場では中級品中心、降雨被害前に収穫を終えた圃場では上級品が中心に収穫されました。以降の番手でも降雨被害や山火事による煙の影響もありましたが、全体を通して良品も多く収穫されました。

産地相場については、中東や中国、韓国から引き合いが増えてきており堅調に推移しています。

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは輸出向けの生産は終了しています。DIP(休耕地政策)に参加した一部の圃場では一定期間水入れを行わなかった影響により根が枯れて再播種が必要になっています。26年産でも継続してDIPが実施される見込みのため、作付面積は例年並みやや増加すると予想されています。

## 米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースンおよびエレンズバーグでは25年産の収穫作業が終了しました。25年産1番刈は上級品中心の発生となり、中～低級品の発生は限定的となりました。2番刈についても上級品の発生が中心となりましたが、収穫が進むにつれ雨当たりも増え、中～低級品も発生しました。カナダ産チモシーの上級品が限定的となったことから荷動きは順調に推移しており産地在庫の売約も進んでいるため、一部の輸出業者では値上げを行っています。

## スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、25年産の収穫作業が終了しました。収穫された1番刈は好天に恵まれたため、上～中級品の発生が中心となり、2番刈は夏のモンスーン(季節風)による降雨もあり、輸出向けには適さない低級品が中心となり、米国内向けに出荷されました。

## クレイングラス(クレインは全酪連の登録商標です)

産地では25年産のクレイングラスの収穫は終了しました。韓国では悪天候により、稻ワラの収量が例年よりも大きく減少していることからストロー類を筆頭にクレイングラスに対しても強い需要が出ています。また、日本からの需要も堅調に推移していることから、26年産の出荷前に産地在庫が逼迫する可能性もあるため今後の動向に

は注視が必要です。

## バミューダ

主産地であるカリフォルニア州インペリアルバレーでは25年産の収穫作業が終了しました。バミューダヘイの日本向けの需要は停滞していますが、台湾向けに堅調に推移しています。バミューダストローについては米国内や輸出向け問わず堅調に推移しています。

## ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地であるオレゴン州ウィラメットバレーでは、25年産の収穫は終了しています。25年産は7月下旬より収穫が開始され、8月下旬より出荷が開始されました。米国産チモシーの低級品が限定的となったことや韓国国内の自給飼料不足により需要は堅調に推移しています。

## カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区、南部レスブリッジ地区とともに25年産の収穫作業は終了しており、南部レスブリッジ地区の1番刈の品質は断続的な降雨の影響を受け、上級品の発生は限定的、中部クレモナ地区の1番刈の品質は中～低級品の発生が中心となりました。2番刈についても不安定な天候の影響もあり圃場での乾燥に時間を要していましたことで、輸出に向かない品質が多く収穫されました。

## 豪州産オーツヘイ・ウィートストロー

25年産オーツヘイの収穫作業は終了しています。西豪州では収穫作業中に降雨の影響を受けた圃場もあり低級品の発生もありますが、生育期間中の好天や適度な降雨に恵まれたことにより、上級品～中級品が中心に収穫されています。南豪州では、適度な降雨もあり順調に生育が進みましたが、収穫終盤に降雨があり、中級品が中心に収穫されています。東豪州では、断続的な降雨の影響で、上級品は限定的となっています。現在も刈取後にベーリングされず放置されている圃場もあり、これらは輸出向けに適さない低級品となる見通しです。引き続き、豪州国内の酪農家からの需要も堅調に推移しているため、需給および産地相場の動向には注視が必要です。

ウィートストローは例年より3週間遅れて収穫作業が開始されましたが、現在、天候も安定しており、良品が多く発生しています。

豪州航路の状況は、世界的なコンテナ需要の増加に伴い、本船スケジュールの遅延が継続しています。直近では、サンクスギビングや年末商戦、旧正月の影響により、中継港において約2週間の遅延が発生しています。さらに、西豪州では小麦をはじめ

とする穀類が豊作となっており、大型船の手配が優先される一方で、コンテナ貨物の船腹予約は逼迫した状況が続いています。

以上

«スペースお借りします。»

◆ 主な行事予定 ◆

1月

19日 須磨年金事務所令和7年度年金委員研修

22日 第7回理事会（WEB）

26日 JA決算税務担当部課長会議（農業会館）

28日 全国酪農協会・事業推進委員会（WEB）

2月

3日 近畿生乳販連理事会・販売委員会（WEB）

4日 兵庫県民農林漁業祭実務者連絡会議（県庁西館）

6日 令和7年度西日本地区社員会議（博多）

11日 令和7年度家畜診療技術者研究発表会（共済会館）

12日 全国酪農協会・役員報酬等審議委員会（WEB）

13日 損害評価委・家畜共済部会（共済会館）

16日 令和7年度兵庫県有和牛精液利用検討委員会（私学会館）

20日 雪印メグミルク神戸工場閉所式（グリーンヒルホテル明石）